



2022年4月21日

株式会社 阿波銀行

篠野海運株式会社の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、篠野海運株式会社（代表取締役 篠野忠弘、本社：徳島県阿南市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	篠野海運株式会社
所在地	徳島県阿南市橘町汐谷 43 番地
代表者	篠野 忠弘
業種	海運業
設立	1963 年 2 月 1 日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。



## 篠野海運株式会社

### 代表取締役 篠野 忠弘

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取り組み内容	①取り組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	労働時間の是正	過重労働、長時間労働、サービス残業に関して、社員全員の共通課題と認識します。発生防止にむけて様々な取り組みを行い、PDCAを回しながら適切な労働時間管理を推進します。	①超過労働時間の削減		
			②労務管理ソフトの導入により、2027年度までに総労働時間を5%削減		
社会・経済	働きがい	社員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働きがいを感じられる環境を目指します。	①資格取得費用の補助、資格手当与制度の整備		
			②1年以上の在籍者において、上級海技免状資格取得時の費用を全額補助		
環境・経済	省エネ・温室効果ガスの排出削減	CO2排出抑制のために、エネルギー使用量の把握に努め、さらなる省エネ・節電を推進します。	①LED化の推進/再生可能エネルギーの導入・利用推進		
			②LED導入率を2027年度までに30%（現状10%）太陽光発電設備を増設		
社会・経済	地域活性化・地元人材の活用	持続可能な地域づくりのため、地元人材の活用推進により、雇用を通じた地域振興と活性化に努めます。	①地元人材の雇用率向上 地域教育機関への出前授業の実施		
			②2027年までに20%超へ年1回以上		



#### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。